

池子の森を守る、地球の緑を守る

池子の森は生きている。

私たちのいのちの絆、

人間の努力で池子の森は守る。

国や立場をこえた英知と実行で、

勇気を持ち池子の森を守るとき

地球の緑を守る道が見えてくる。

逗子市民がその第1歩をふみ出そう、

地球市民が世界じゅうの森を守るように、

池子の森をまもろう

池子の森は生きている 講演コンサート

2010年11月19日(金)

10時開演(開場9時45分) — 11時30分終演

逗子文化プラザ さざなみホール

入場無料 (入場券が必要です) 全席自由

申込方法 10月21日(木) 午前10時より 電話受付開始
0467-23-8741 (リラ自然音楽研究所)

森は生きている! いのちの歌、舞、詩の朗読、そして
お話です。自然の息吹いっぱいのお話を聴き、皆で唱歌
をうたいましょう。

予定曲目より 池子の風、私の街から、春はかえる

出演 あおき ゆうこ 青木由有子 歌
つきよみ 月読かぐや 舞
やまなみ げんたろう 山波言太郎 お話と詩の朗読

リラ自然音楽 地球の緑を守る 歌と舞のコンサート

2010年11月30日(火)

19時開演(開場18時30分) — 20時30分終演(予定)

逗子文化プラザ さざなみホール

入場料 1,500円 (入場券必要) 全席自由

申込方法 10月21日(木) 午前10時より 電話受付開始
0467-23-8741 (リラ自然音楽研究所)

出演 あおき ゆうこ 青木由有子 歌
つきよみ 月読かぐや 舞

予定曲目より

歌: 自然から聞きとったうた
(白つめ草の灯り・アロエのうた・等)、
桜散るころ、唱歌(紅葉・等)

舞: 流氷、飛鳥の歌、雨のうた

●終演後 サイン会(予定)



※車イス席はお問い合わせ下さい ※未就学児の入場はご遠慮下さい

お問い合わせ
主催

みどりを守る歌声の会 TEL 0467-23-8741

神奈川県鎌倉市由比ガ浜4-4-11(リラ自然音楽研究所内)
ホームページ <http://www11.ocn.ne.jp/~lyra/>

定休日 10/26(火)、27(水)、11/2(火)、3(水)、10(水)、16(火)、17(水)、19(金)、24(水)

毎月1回・定例
第82回 みどりを守る歌声の会

2010年11月12日(金) 正午より30分間

亀岡八幡宮境内 無料(申込不要、雨天決行)

月読かぐや

——「雨のうた」作舞の時の言葉——

それは雨や風の妖精たちが、雨を作り出している所…沢山の妖精たちが、キラキラと宝石のような雨を地上へ落として、風の精たちは風の糸をつむぎ出しています。そして全体で渦のように天へ天へと旋廻しながら上って、渦の中に入っていきようなイメージ…



プロフィール



あおき ゆうこ
青木由有子 逗子市在住

リラ自然音楽歌手、作詞・作曲家として、独特な清らかな音楽の世界を作り出している。1995年より一貫して自然音楽を、傷ついた人と植物、動物の幸せと平和を願い歌い続けている。また、長年緑を守る歌声運動にも取り組んでおり、現在も地元逗子の池子の森を守る歌声運動等に力を注いでいる。「みどりを守る歌声の会」主宰。CDアルバム24枚、著書『妖精の庭から』。12月中旬、新CD『雲のうた 風のうた』発売予定。



つきよみ
月読かぐや 逗子市在住

舞踊家、朗読家、自然音楽研究所所属。「自然音楽かぐや舞」を創始。作舞し、演じ、指導をしている。リラ自然音楽を舞で表現する、幽遠優美な日本のことだま舞を目指している。朗読家としては、高度のリラヴォイスで癒しの朗読、特に宮沢賢治の童話の朗読では、これまでにない作品の魅力をひきだしている。CD『雪渡り』『やまなし』『双子の星』『愛を語る夢のむこうで』他。

会場 逗子文化プラザ さざなみホール

逗子市逗子4-2-10 逗子文化プラザホール

<http://www.bunka-plazahall.com/>

交通 京浜急行「新逗子」駅より徒歩2分
JR横須賀線「逗子」駅より徒歩5分



やまなみ けんたろう
山波言太郎 逗子市在住

1921年生まれ、詩人、心霊研究者、リラ自然音楽セラピーを創始、慶應義塾大学経済学部卒。1943年学徒出陣で海軍に入り、特攻基地で戦争を体験。

学生時代(1942年)に近代心霊研究に触れ、その迷信を叩こうとして逆にその正しさを知り、研究者となり(ネオ・スピリチュアリズム)を唱導。1943年前田鉄之助の「詩洋」同人

(1977年鉄之助の他界まで)、以後「日本未来派」を経て個人詩誌「脱皮」を発行、1951年より日本詩人クラブ会員。戦後の日本再建は青年の教育と考え、東京で高校教師生活。35年の回答は絶望。教育行政が人間の努力をことごとく蹂躪。1982年、世界の恒久平和を悲願して一人で活動を開始、その結果が1985年「生命の樹」設立となり、1992年リラヴォイス開発、1995年自然音楽開発となり、現在の「リラ研究グループ自然音楽研究所」と「義経と静の会」となる。著書『人類の最大犯罪は戦争』『テクノボー革命』上下巻『音楽進化論』『ワネスブック・シリーズ』6巻、『宮沢賢治の霊の世界』他、訳書『シルバー・バーチ霊言集』他、著訳書多数。詩集『水晶宮』『同年の兵士達へ』など13冊。

